

ロジスティクス環境会議
第1回企画運営委員会

2003年11月13日(木)17:00~18:00
東京プリンスホテル 11F 高砂

次 第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 委員紹介
4. 議 事
 - 1) 企画運営委員会の役割について
 - 2) 各委員会のメンバー構成と活動について
 - 3) 今後のスケジュールについて
 - 4) その他
5. 閉 会

以 上

概要と運営体制（案）

1. 概要

1) 名称：ロジスティクス環境会議

Conference on Green Logistics in Japan (CGL in Japan)

2) 目的：循環型社会を実現するロジスティクスの構築

～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

3) 目標：行政・自治体・大学等の研究機関・関連団体との連携を図りながら、環境と調和したロジスティクス方針・活動を通じて、循環型社会を実現するロジスティクスの構築に取り組む企業を増やす。

4) 期間：2003年11月～2006年3月

(第1期) 初年度：2003年11月～2004年3月

2年目：2004年4月～2005年3月

3年目：2005年4月～2006年3月

5) 参加対象：(社)日本ロジスティクスシステム協会の会員

6) 活動内容：ロジスティクス環境会議（本会議）のもとに企画運営委員会を設け、グランドデザインのそれぞれのミッションに基づき、主体的に問題点・課題などを議論し、アウトプットを創出するための活動を行い、その活動は委員会を設けて実施される。

(1)環境パフォーマンス評価手法の検討

(2)源流管理による環境改善の検討

(3)省資源ロジスティクスの推進

(4)リバースロジスティクスの調査

(5)共通基盤の整備

源流管理：企業の社会的責任として、商品・サービスのライフサイクル全体にわたって環境負荷を低減するため、ロジスティクスの視点から、リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の実現を目指し、製品や荷姿の設計、物流プロセスを構築すること。

2. 運営体制

1) ロジスティクス環境会議（本会議）

(1) 役割

ロジスティクス環境会議の基本方針を定める。
ロジスティクスの視点から企業間にわたる環境負荷低減を実現するための合意形成を行う。
合意事項の普及啓発と関係者に対する提言を行う。

(2) 全体の構成

組織

議長：張 富士夫

(社)日本ロジスティクスシステム協会 会長
(トヨタ自動車株) 取締役社長)

副議長：鈴木 武

(社)日本ロジスティクスシステム協会 副会長
(味の素株) 代表取締役副社長)

副議長：岡部 正彦

(社)日本ロジスティクスシステム協会 副会長
(日本通運株) 代表取締役社長)

副議長：鈴木 敏文

(社)日本ロジスティクスシステム協会 副会長
(株)イトーヨーカ堂 代表取締役会長)

企業・自治体メンバー：企業の経営執行上の責任者、自治体の運営上の責任者

特別メンバー：ロジスティクスおよび環境問題に取り組む学識経験者・関連団体・消費者団体等

オブザーバー：関係府省庁

2) 企画運営委員会

(1) 役割

ロジスティクス環境会議全体の活動における基本方針案を策定し、本会議に提案する。
ロジスティクス環境会議(本会議)において合意された基本方針に基づき、活動方針を策定し決定する。
活動方針に基づく各委員会の目標設定と活動の計画および調整を行う。
各委員会の取組み状況と目標に対する達成状況を把握する。
各委員会の活動を積極的に支援すると共に、委員会として組織化されていない重要なテーマについては、実態調査等を行い、必要な時期に委員会を組織する。
各委員会できまとめられた提言案を取りまとめ、関係者に提言活動を行う。
広報・普及啓発活動の企画および実施、関連団体との連携を図り、活動の効率化を推進する。
技術開発における要望の検討と整理をし、関係者に提案活動を行う。

(2) 構成

各委員会の正・副委員長および主要メンバーと学識経験者等で構成する。

3) 委員会

(1) 役割

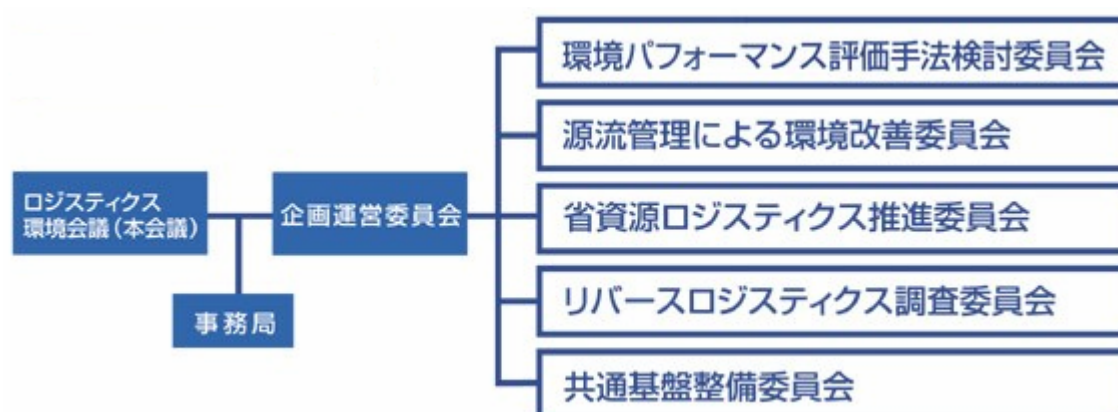
目標を達成するため、各委員会は主体的にテーマや内容を設定する。

具体的な議論を重ねて合意形成を図りながら、ステップバイステップで環境負荷を低減するロジスティクスを構築する。

(2) 構成

本会議メンバーの意向を受けた、実務上の責任者および学識経験者で構成する。

4) 組織構成



以上

本会議と委員会	主な活動と成果	会 合 回 数	2003年度		2004年度		3月	4月	5月
			11月	12月	1月	2月			
1 - 1. 本会議	1) 合意形成 2) 関係者への提言	2	11/13						
1 - 2. 企画運営委員会	1) 全体・委員会活動目標の作成(合意形成) 2) 各委員会の目標設定と活動計画及び活動の調整 3) 広報、普及活動の検討 4) 第2回本会議の内容検討	5	11/13						
2 - 1. 環境パフォーマンス 評価指標検討委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 各社の取組み体制、活動状況の調査 成果: LEMSマニュアル調査報告	4							
2 - 2. 源流管理による 環境改善委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 各社実態調査 成果: 実態調査報告書(経過)	5							
2 - 3. 省資源ロジスティクス 推進委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 各モードの実態調査 成果: 実態調査報告書(経過)	5							
2 - 4. リバースロジスティクス 調査委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 主要製品別の実態調査 規制製品業界 成果: 実態調査報告書(経過)	5							
2 - 5. 共通基盤整備委員会	1) 用語の整備 2) 関係情報の収集と公開 3) Mail News、ジャーナル(ペーパー)の作成 成果: 上記1) 2) 3)	5					mail	mail	冊子

本会議と委員会	主な活動と成果	2003年度		2004年度		2005年度	
		11月～12月	1月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
1-1. 本会議	1) 合意形成 2) 関係者への提言	11/13					
1-2. 企画運営委員会	1) 全体・委員会活動目標と計画の検討(合意形成) 2) 全体・委員会活動の調整 3) 広報、普及活動の検討						
2-1. 環境パフォーマンス評価指標検討委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 各社環境活動の実態調査 3) パフォーマンス指標等の検討 4) マニュアルの作成						
2-2. 源流管理による環境改善委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 各社の取組み体制、活動状況の調査 3) マニュアルの作成						
2-3. 省資源ロジスティクス推進委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) モード別活用状況と施策検討 3) 事例集の作成						
2-4. リバースロジスティクス調査委員会	1) 委員会の活動目標と計画の作成(合意形成) 2) 国内外の実態調査 3) 事例研究と公開						
2-5. 共通基盤整備委員会	1) 用語の整備 2) 関係情報の収集と公開 3) Mail News、ジャーナル(ペーパー)の作成						